



# TEAM NEXT YONEZAWA

## 青年の力をあわせて より良い米沢を実現

青年経済人による明るい社会の実現を目指す公益社団法人、米沢青年会議所。県内には16の青年会議所(JC)が存在し、約600人の会員が活躍しています。今回は県内JCの1つである米沢青年会議所を訪問しました。

「地域をより良くするため、という純粋な気持ちで課題解決に取り組めるのが魅力だと思います。同じ志を持つ仲間たちと交流し、日々刺激を受けながら活動しています」と語るのは、2021年度理事長の樋口大さん。2020年度理事長を務めた遠藤正紀さんも「私たちには、子どもたちが『米沢に生まれて良かった』と思えるようなまちにしていく責任があると思います」と語りました。

そんな想いを原動力に、上杉雪灯籠まつりの会場に子どもたちが将来の目標を描いたイラストを木灯籠にして設置しているほか、夏のおまつり「TEENS ROCK IN YONEZAWA」の開催も行うなど、様々な事業で米沢を盛り上げてきた米沢青年会議所。新型コロナウイルスの影響で予定していた事業が軒並みストップしてしまった昨年度も、飲食店と来店客が感染防止のために取り組むべき事柄をガイドライン化した「米沢びしゃもんプロジェクト」を米沢商工会議所青年部と共に立ち上げるなど、自分たちができることに一丸となって取り組んできました。

米沢青年会議所は、困難な状況下でも歩みを止めず、より良い地域づくりに挑戦し続けています。「これからの世の中は、今までの価値観が通用しない新しい社会へと変化していくと思います。私たち青年会議所が率先して変化し、新しい価値をつくることに挑戦していきたいです」と、樋口さんは力強く今後の目標を語りました。

## 市内20代～40歳の青年が地域課題解決に取り組む 米沢青年会議所 (アルカディア1丁目)

1962年創立。現在75人の会員が所属し、様々な地域課題の解決に向けて活動している。写真は2021年度理事長の樋口大さん(写真右)、2020年度理事長の遠藤正紀さん(写真左)。



雪灯籠まつりの木灯籠



「米沢びしゃもんプロジェクト」オリジナルマスク

## 「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(1月14日現在、173の企業・団体・個人が登録)

